

大学OBの広報官が大学3年生に熱弁！ 業界研究セミナーに参加

自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、12月13日（木）、昨年に引き続き、桐蔭横浜大学（横浜市青葉区）主催で、大学3年生を対象とした業界研究セミナーに参加した。

このセミナーには、神奈川県警や横浜市消防局をはじめ28の企業・団体が参加し、市ヶ尾募集案内所からは同校の卒業生である井坂広報官が後輩達へ自衛隊の魅力やPR（1回につき30分を3回程実施）した。

自衛隊はどんな仕事をしているのかを理解してもらおうと、陸・海・空で幅広い職種がある事を紹介したり、国家公務員だからこそ出来る仕事について説明したりと学生達に興味を持ってもらえる内容にスポットを当てた。

厚木基地での部隊勤務経験を例に挙げ、米軍と共同で使用している基地があることや、海外派遣があること、文系大学卒業でも航空機整備などの専門知識を入隊してから学べることも実体験を交えて紹介した。

学生達からは「そのような仕事があるのを知りませんでした」「初めて聞く内容が多かったです」と自衛隊へのイメージが変わった様子が窺えた。

短い時間での説明であったが、熱心に話を聞いてくれた後輩達から受験へ前向きな姿勢が感じられた。

市ヶ尾募集案内所は「大学生が自衛隊に興味を持ち、就職先として考えてもらえる良い機会となった。今後も大学と協力し、優秀な人材確保に向け努力していきたい」としている。



追加説明を行う井坂広報官



熱心に聞き入る参加者達



後輩達に説明する井坂広報官

即応予備自衛官雇用企業主等訓練研修

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本真祐）は、12月14日（金）15日（土）の両日、駒門駐屯地及び東富士演習場で実施された第31普通科連隊が担任・実施する即応予備自衛官雇用企業主等訓練研修を支援した。

本研修は、即応予備自衛官を雇用する企業主等に対し、即応予備自衛官制度と自衛隊に対する理解を深めるため毎年実施しているもので、神奈川地本からは即自志願者を含む3社7名の企業主等を招待した。1日目は、第31普通科連隊 副連隊長から挨拶と概要説明の後、資料館見学や74式戦車の体験搭乗が行われ、戦車の砲塔の大きさや走行時の加速、揺れ、轟音に対し、企業主から驚きと歓声が沸いた。

2日目には、重迫撃砲射撃の一連の動きを間近で見学し、迫力ある射撃状況を第1科長から説明を受けながら熱心に見学していた。

参加企業主からは、「即応予備自衛官の訓練の大変さと重要性を再認識した。会社としてもできる限りの支援をしていきたい」との感想をいただき、充実した訓練研修となった。

神奈川地本では、「今後もあらゆる機会を活用して雇用企業主への即応予備自衛官制度及び自衛隊に対する理解促進を図り、即応予備自衛官の勢力確保の資とする」とともに、訓練への出頭環境の向上に繋げていきたい」としている。



74式戦車に搭乗する雇用企業主等



迷彩服試着コーナー